

富山高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	船舶工学特論	
科目基礎情報							
科目番号	0226		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	商船学科		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		1		
教科書/教材							
担当教員	山本 桂一郎						
到達目標							
・ 梁理論を理解し、梁模型の設計、制作ができる。 ・ プロペラの推進機構を理解し、プロペラ模型の設計、製作ができる。 ・ 船体の概略設計ができ、船体模型の設計、製作ができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	船舶工学の知識を応用できる		船舶工学の知識が定着している		船舶工学の知識が定着していない		
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	船舶工学で学んだ抵抗・推進と船体強度に関する知識の確認と応用を目指すものであり、船舶の設計、製作、評価法について、実習を通して深く学び、創造への一歩を踏み出すものである。						
授業の進め方・方法	講義、コンテストを主としたPBL						
注意点	コンテスト成績(1/3)、レポート(1/3)とプレゼンテーション(1/3)により評価する。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	構造模型の設計、製作と評価の概要		構造模型の設計、製作と評価の概要について説明できる		
		2週	構造模型の設計		構造模型の設計に取り組むことができる		
		3週	構造模型の設計と製作		構造模型の設計と製作に取り組むことができる		
		4週	構造模型の製作		構造模型の製作に取り組むことができる		
		5週	構造模型コンテスト		構造模型コンテストに取り組むことができる		
		6週	プロペラ模型の設計、製作と評価の概要		プロペラ模型の設計、製作と評価の概要について説明できる		
		7週	プロペラ模型の設計		プロペラ模型の設計に取り組むことができる		
		8週	プロペラ模型の設計と製作		プロペラ模型の設計と製作に取り組むことができる		
	2ndQ	9週	プロペラ模型の製作		プロペラ模型の製作に取り組むことができる		
		10週	プロペラ模型コンテスト		プロペラ模型コンテストに取り組むことができる		
		11週	船体模型の設計、製作と評価の概要		船体模型の設計、製作と評価の概要について説明できる		
		12週	船体模型の設計		船体模型の設計に取り組むことができる		
		13週	船体模型の設計と製作		船体模型の設計と製作に取り組むことができる		
		14週	船体模型の製作		船体模型の製作に取り組むことができる		
		15週	船体模型コンテスト		船体模型コンテストに取り組むことができる		
		16週	プレゼンテーション		プレゼンテーションに取り組むことができる		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	30	30	0	30	10	100
基礎的能力	0	10	10	0	10	10	40
専門的能力	0	10	10	0	10	0	30
分野横断的能力	0	10	10	0	10	0	30